

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	認知症の進行や高齢化(90歳以上40%)に伴い、職員は本人の持っている能力や暮らしに対する意向を過小評価し、自分でできることまで介助してしまう傾向にある。	個別性を尊重し利用者が様々な場面において自分でする力があることを信じて、本人の潜在能力を見極め、力を引き出す支援を行う。	利用者に対して、今一度できること、できないこと、したいこと、したくないこと等の把握をしっかりと行い、様々なアクティビティを職員と共に行うことにより潜在している能力を発見し、自立支援につなげていく。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。